

木山中Spirit

益城町立木山中学校

平成31年1月8日

NO6 文責 河瀬清彦

明けまして おめでとうございます！

昨年末の2学期終業式に2019年も成長著しい年にするために、また、一歩踏み出すための「目標」や「夢」づくりに頑張してほしいと話をしました。お子様の今年の「目標」、「夢」づくりはどうでしょうか？ 将来に向けた「目標」や「夢」は、自分を成長させるためには大切であると考えます。新しい年を迎えた今こそ、「目標」や「夢」をしっかり胸にいだいて、充実した1年を、自分の力で作りあげるスタートとしてほしいと思います。

さて、私の目標というか、今年の漢字を「安」にしました。調べてみると、体操の内村航平選手と同じでした。

・心安らかな1年になるように ・安心、安全な学校になるように

・今年、直面する課題に、たやすくとまではいかなくともいいですが、乗り越えられる力を身につけるなどを思い、この漢字にしました。ただし、安易な考えや行動にはならないよう気をつけたいと思っています。ご家庭でも、今年の目標の一つに、お子様と考えてみてはどうでしょうか？

また、3学期の始業式には、繰り返し話をしている、次の2つをお願いしました。

一つ目は、「自分を大切にするとともに、友達も大切にすること」

二つ目は、「復興は木山中学校から」の合い言葉に、輝く木山中学校にしていって欲しいということ

新しい年を迎え、新たな気持ちになっている人も多いと思います。自分の強みをもっと伸ばしたい、自分の弱点を克服したいと思っている人は、今がチャンスです。この2つのお願いを入れてもらい「自分磨き」を行ってほしいと思います。悔いの残らない中学校生活にするために「努力」を惜しまず、そして、「ああ、よかった」と思うような、3学期、中学生活になるようにしてほしいと思います。

今年も、私たち木山中学校職員は一丸となって、子どもたちをしっかり支援していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



自分の命は自分で守る力を！

新年が明けた1月3日に東北を震源とする地震がありました。保護者の皆様おかれましては、大丈夫でしたでしょうか。

私は、緊急地震速報と「ゴォー」という地響きの音を聞いて、胸が苦しくなりました。自分自身も、まだ、心のどこかで怖かった体験を引きずっているのだなと思いました。保護者の皆様もお子様も、私と同じ気持ちになられた方も多かったのではないのでしょうか。

子どもたちには、苦しいとき、悲しいとき、怖いとき等には、先生や友達に胸の内を表に出してみてください。必ずその思いを受け止めてくれることと思います。話をしました。なぜなら、木山中学校の全員が3年前の熊本地震を経験しているからです。熊本地震から3年目を迎えようとしていますが、木山中学校では、今後も、慌てず行動を行い、自分の命は自分で守ることのできる力を、心のケアと共に育成していきます。

木山中学校からの「気持ち」を送りました！

西日本豪雨災害、北海道地震災害の義援金として、生徒会執行部、生徒会ボランティア委員会、PTAで集めていただきました。木山中学校からの「気持ち」をお送りしました。送付先は、生徒会とも相談し考えましたが、平成28年熊本地震発生より支援をしていただきました、岡山県総社市へと白石中学校（3年間義援金をいただいています）へ送ることとなりました。

○西日本豪雨災害に対して

・送り先 岡山県 総社市立昭和中学校

・金額 44386円

○北海道地震災害に対して

・送り先 北海道 札幌市立白石中学校

・金額 58915円

遠く離れていますが、お互い一人ではないという温かい気持ちの交流が、ずっと続くと良いなと思っています。

念願の2つの渡り廊下が完成いたしました。つきましては、完成式を、1月10日（木）、14:55より行います。ご都合のつかれる保護者様は、是非、ご来校いただきますようご案内申し上げます。

新 生 徒 会 発 足 ！

12月21日の第2学期終業式の日、生徒会執行部の認証式を行いました。また、各委員長、副委員長を含めた33名で、冬休みに入った26日にリーダー研修会を行いました。

●●前生徒会長率いる生徒会はスローガンを「瞬間 感謝を忘れず 一瞬を生きろ 木山中Life」とし、あいさつや無言掃除の励行、各行事の大成功、熊本地震からの復興等に活躍してくれました。

新しい生徒会は、●●生徒会長が率い、木山中学校の伝統を引き継ぎながらも、新しい自分たちの生徒会を表に出しながら、みんなが楽しく生活できる木山中学校を創り上げてくれることと期待しています。

【新生徒会執行部】

生徒会長	●●	●●	くん			
生徒副会長	●●	●●	さん	●●	●●●	くん
書記	●●	●●	さん	●●	●●	くん
会計	●●	●●	くん	●●	●●	くん
議長	●●	●●	さん			
副議長	●●	●●	くん			



【新執行部及び新委員長・副委員長の皆さん】

木山中学校生の学力等の現状

木山中学校の生徒の学力は、1年単位で見れば、概ね全国平均値を越えていますので、安堵したいところですが、数年を追って確認すると本校の課題が見えてきました。

それは熊本地震の震災以降、学力の低下傾向が続いているということです。この低下傾向を止め、上昇する流れを作る必要があります。昨年4月に行われた全国学力・学習状況調査（中学3年生を対象、国語、数学、理科及び質問紙問題を実施）でも同様の傾向を示しています。国語や数学の応用や活用が問われるもの、基礎知識が問われるものに課題が見えます。

今年より益城中央小学校、津森小学校と木山中学校の3校で「学力向上」の研究指定を受け、精神的安定や豊かな心の育成を基盤に子どもたちの学力向上を目指し取り組んでいます。

しかし、この取組の達成には、保護者の協力が不可欠です。例えば家庭学習の充実です。もちろん学校でも学習方法や内容を指導しますが、家庭での取組になりますので、叱咤激励をお願いします。

また、「ノーメディアデー」も3校で取り組みます。（木山中は、毎月「0」の付く日をノーメディアデーとしています）

さらに、小中学校の職員の連携も深めていきます。中学校職員が小学校での授業を参観し意見交換を行ったり、また逆に小学校職員が中学校での授業参観を行い、小中学校が連携して授業の質を高めるとともに、子どもたちの学力充実を高めていきます。

しかし、学力向上には、精神的な安定や安心・安全な生活が土台にあります。「心のケア」「いじめ・不登校の改善」にもしっかり取組ながら進めていきます。

将来への「夢」を持たせ、自己肯定感を高め、心の安定を図りながら、学習習慣の確立を目指していきたいと思いますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

下の表は、全国学力・学習状況調査の質問紙の結果から、伸びている項目と伸ばしたい項目をいくつか選んでみました。（数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合です。）

【伸びている項目】

・自分には良いところがある	87.6%
・将来の夢や目標を持っている	81.3%
・学校の規則を守っている	98.8%
・朝食を毎日食べている	96.3%
・家で学校の宿題をしている	93.8%

【伸ばしてほしい項目】

・家で、自分で計画を立てて学習をしている	57.5%
・家で、学校の授業の予習・復習をしている	60.0%
・学校の授業以外に普段、一日あたりどれくらいの時間学習をしますか。	2時間以上 25.0%
・住んでいる地域の行事に参加しているか	48.8%

自分の良いところをしっかりと知っていたり、夢や目標を持っている割合は高いですが、残りの十数%の夢や目標を持たない子どもたちが気になります。また、宿題はしているようですが、授業の復習や予習まで行っていない人が多いようです。伸びているところはさらに、伸ばしてほしいところは少しでも伸びてくれるよう、保護者と学校がしっかり連携していければと思います。